



資格認定

JCRE : JUSE Certified Reliability Engineer

日本で唯一の信頼性技術者資格！ 信頼性技術者の能力を認定します！

「信頼性技術者資格認定制度」とは、日科技連が信頼性工学の普及と発展を通じ、信頼性・品質保証業務に携わる技術者の問題解決能力の向上を図るために「信頼性技術者」を資格認定し、評価登録するものです。信頼性全般についての基礎的知識を有し、基本的な問題の解決に有効な信頼性手法を利用することができ、信頼性の向上活動を自ら実践できるエキスパートと判定された場合に資格が授与されます。

「信頼性技術者」資格は、日科技連主催の「信頼性技術者資格試験」に合格し、「信頼性技術者資格認定委員会」における審議を経て認定されます。



- すでに590名を超える方々が資格を有し、各方面で活躍しています。
- 「信頼性技術者」資格には、「初級信頼性技術者」「中級信頼性技術者」「上級信頼性技術者」の3つの種類があります。
- 「初級信頼性技術者」の資格試験は下記の要領で実施します。「中級信頼性技術者」「上級信頼性技術者」の資格試験は、レポートの提出による書類審査と面接を行います。

「初級信頼性技術者」資格試験

*詳細はホームページをご覧ください。「信頼性技術者資格認定制度のしおり」もダウンロードできます。

実施時期	東京での試験は原則「信頼性セミナー基礎コース」終了後に実施 *上記コース受講の場合は、試験とは別に申込みが必要です。
会場	東京・日科技連 東高円寺ビル / 大阪・日科技連 大阪事務所
受験料	12,960円(一般/会員)
試験方式	マークシート方式
試験時間	東京 17:00 ~ 19:00(120分) 大阪 18:00 ~ 20:00(120分)
出題内容	信頼性技術(信頼性通論 10問、信頼性管理 10問、故障の確率モデル 20問、信頼性設計 10問、システムの信頼性と保全性 10問、信頼性試験と故障物理 20問、信頼性データ解析法 20問等)に関する問題 100問
試験レベル	基礎的な信頼性工学の知識レベル(「信頼性セミナー基礎コース」修了者の知識レベル)
机の上に置く物	受験票、筆記用具(HB・Bの黒鉛筆またはシャープペンシル)、鉛筆削り、消しゴム、電卓、時計(電卓機能、通信機能付、携帯電話は不可) 定規2本
合格基準	70点以上

回数	日程	会場
46	6月8日(金)	東京
47	8月31日(金)	
48	8月31日(金)	大阪
49	11月30日(金)	東京

出張試験を実施中!

団体で一括受験をしたいというニーズにお応えし、開催諸条件を満たせば貴社のご希望の時間・場所で開催する出張試験を実施します。お気軽にお問い合わせください。

JSTQB テスト技術者資格認定制度

JSTQB : Japan Software Testing Qualifications Board

主催：JSTQB 試験実施：日本科学技術連盟

*日本科学技術連盟は主催団体であるJSTQBとパートナーシップを結んでおり、試験の実施組織です。

ソフトウェア業界全体で技術力を向上する手段の一つに、資格認定制度があります。JSTQBでは、日本のソフトウェア技術者がテスト技術を向上させるきっかけとして、テスト技術者の資格認定制度を開始しました。

我々の身体や財産を守るために、また日本のソフトウェア業界の技術力向上のために、ぜひ多くのソフトウェア技術者にJSTQBテスト技術者資格を取得していただきたいと考えています。皆様のチャレンジをお待ちしております。

JSTQBとは

- 日本におけるソフトウェアテスト技術者資格認定の運営組織で、各国のテスト技術者認定組織が参加しているISTQB (International Software Testing Qualifications Board) の加盟組織として2005年4月に認定されています。
- ISTQBの加盟組織の各国団体は資格および教育・訓練組織認証について相互認証を行っています。
- JSTQBが運営するソフトウェアテスト技術者資格は海外でも有効な資格です。

JSTQB認定テスト技術者資格試験

JSTQBテスト技術者資格認定制度は、「Foundation Level」「Advanced Level」の2段階で構成されています。

Foundation Level 試験	
実施日	未定(年2回の予定)
試験時間	60分
開催地域	東京、名古屋、大阪、福岡 他
試験料	21,600円
出題範囲	シラバスに準拠します。

Advanced Level テストマネージャー テストアナリスト 試験	
実施日	未定(年に各1回の予定)
試験時間	180分
開催地域	東京、大阪 他
試験料	21,600円
出題範囲	シラバスに準拠します。

JCSQE : JUSE Certified Software Quality Engineer

ソフトウェアの品質技術を高め、継続的、効果的に品質向上を目指す！

すべてのソフトウェア技術者に“品質技術”を！

日科技連では日本のソフトウェア産業において安全・安心な社会を実現するために資格認定制度を実施しています。2008年12月に第1回初級試験を実施以来、2017年10月現在、初級の有資格者は2,800名を超え、中級の有資格者は約140名と、その有効性ととも知名度も年々高まっています。

ソフトウェア品質向上に大事なことは、包括的かつ体系的で本質的な知識を身につけ、効果的な策を継続的に実施していくことです。多くの組織や多くの技術者・管理者・経営者が、この資格認定制度をきっかけとして品質向上を達成していただければ幸いです。



- 本資格試験は「スキル標準ユーザー協会 (SSUG)」の「ITスキル標準 (ITSS) のキャリアフレームワークと認定試験・資格とのマップ」に、初級はレベル2、中級はレベル4に位置づけられています。
- ソフトウェア品質技術者資格認定制度は、初級、中級、上級 (今後実施予定) の3段階の資格により構成されます。

「初級ソフトウェア品質技術者」資格試験

実施日 (予定)	第20回 6月16日(土) 10:30~11:30(60分)
年2回開催	第21回 11月17日(土) 10:30~11:30(60分)
開催地域	東京、名古屋、大阪、福岡を中心に各主要都市
試験料	10,800円 *団体割引あり
出題範囲	シラバスに準拠します

「中級ソフトウェア品質技術者」資格試験

実施日 (予定)	第9回 11月17日(土) 13:30~15:30(120分)
年1回開催	
開催地域	東京、大阪を中心に各主要都市
試験料	16,200円 *団体割引あり
出題範囲	シラバスに準拠します

*団体割引について:「初級」「中級」単体で、同一窓口から一括して10名以上お申込みいただく(受験料も一括振込)と受験料が10%割引になります。

QCサークル指導士資格認定制度

QCサークルの分野では日本で唯一の認定資格

日科技連では、2000年4月にQCサークル活動の普及と発展のために「QCサークル指導士資格認定制度」を発足しました。「QCサークル指導士」は、企業・団体などにおいて正しくQCサークル活動の指導・育成ができる能力のあることを認定したもので、QCサークルの分野では、日本で唯一の認定資格です。2017年10月現在、約1,600名の方々がこの資格を有し、様々な場で活躍されています。社内でのQCサークル活動の活性化、個人のスキルアップのためにお役立てください。



【お知らせ】2018年度からQCサークル指導士資格規定が改定されます。詳細はWebページをご覧ください。

▶ <http://www.juse.or.jp/src/seminar/detail/page/qualify-06>

研修・認定試験

- 右記の条件を満たしている方には、QCサークル活動の指導・育成を行ううえで、自身が補いたいと思う部分を「QCサークル推進者コース (p.56)」の講義から3単位選択して受講いただけます。3単位受講後、同コース期間内のご希望の日時に認定試験を受けることができます。

QCサークル推進者コース 午前の講義カリキュラム

		午前	
前期	第1日	品質管理とQCサークル	QCC指導士資格認定 選択講義 *3つ選択
	第2日	職場運営に役立つQCサークル活動、QCサークル活動の活性化法	
	第3日	QC手法とその活用	
後期	第4日	問題解決・課題達成の方法	
	第5日	QCサークル活動の全社的推進	
参加費	35,640円(一般/会員) *認定試験受験料含む		

*詳細はWebページをご覧ください。

「QCサークル指導士」資格取得のステップ



